



若柳 良明 議員
(平和環境市民クラブ)

大迫高等学校の魅力づくりは 実施可能な事業を支援

Q 平成27年12月、岩手県教育委員会、県立高校の再編計画(案)を公表。大迫高校に關し、入学者が2年連続20人以下となった場合は、翌年度から募集を停止し、統合を進めるというものである。大迫高校生徒確保対策協議会が主体となり、大迫地域以外からタクシーで通学する生徒に対し、通学費を補助するなど対策を講じているが、市としての高校存続への支援策について伺う。

A 【市長】 大迫高校の魅力づくりは、これまでも大迫高校、同窓会、生徒確保対策協議会が連携し事業を展開しており、市としても生徒確保対策協議会への補助金交付をはじめ各会の役員会、総会、意見交換会等に大迫総合支所や教育委員会の職員が出席し、活動を支援している。

今後大迫高校や関係団体と連携しながら、これまで出されたさまざまな意見について、実施可能な事業の早急なピックアップと実行を支援していくとともに、必要に応じて事業補助金の増額等の予算措置についても検討していきたいと考えている。

また、大迫高校全校生徒との意見交換会を実施し、愛校心を含めた率



存続が求められる大迫高校

直な意見をいただいた。
大迫高校の存続は、教育の機会の均等という観点から大変重要であり、今後も大迫高校はもとより、地域、同窓会、PTAの皆さんが地域になくしてはならない学校であるとの認識のもとに行う魅力づくりに向けた取り組みを、市も一緒に進めていくことを考えている。

【そのほかの質問】 市長施政方針について、放射性物質の現状と課題について



内館 桂 議員
(市民クラブ)

6次産業化の取り組みは 農工商等連携の推進を図る

Q ①6次産業化の本市の取り組みについて「良く分からない」との声があるが取り組み状況を伺う。②1次・2次・3次産業の連携の実態を伺う。

A 【市長】 ①6次産業化推進事業において、花巻の農畜産物を活用した付加価値向上や生産者の所得向上に向けた取り組みの支援を目的に、これまで17件に支援している。また、6次産業化に取り組む意向のある農業者を対象とした意見交換会の開催や、県内外で開催される各種研修会、イベントの出展案内などの情報提供も行っている。②これまでは、生産者自らが加工または消費者に直接販売する取り組みが多く、加工業者が取り組む場合でも、生産者は農畜産物の提供にとどまり、必ずしも1次・2次・3次産業間の連携が十分に機能していなかった。生産者と加工、流通事業者等との効果的なマッチングを図り、農工商等連携の推進につなげていきたいと考えている。

円の開きがある。負担の均衡化が必要と考えるが所見を伺う。

A 【市長】 料金の統一を図ることを狙いとした花巻市学童クラブガイドライン検討会を組織して協議を進め、「花巻市学童クラブ運営指針」を昨年11月に定めた。この指針に沿って平成28年度から会計科目を統一して事業を実施することとし、平成29年度には前年度の決算状況を比較し検討しながら、平成30年度には保育料の体系を統一することを目指している。

【そのほかの質問】 文化財の保存及び活用について、公立保育園の再編について



Q 学童クラブの利用料は月額6千円から月額1万円と4千

学童クラブの利用料は



農産物加工品も取り扱う産地直売所

市政「ここが聞きたい」
いっぱい質問



高橋 勤 議員
(明和会)

18歳選挙権投票率向上策は 高等学校就学前からの意識啓発を

Q 投票率を上げるための方法として選挙啓発授業、模擬選挙等を設け、棄権しないよう1人でも多くの有権者が投票しやすい環境を整備することが極めて重要であるが、学校現場などへの改正内容の周知について伺う。

A 【選挙管理委員会委員長】 岩手県明和選挙推進協議会では、県内全ての高等学校に対し、副教材を利用した選挙啓発授業を取り入れるよう依頼し、選挙への理解と周知に取り組んでいる。また、花巻市明和選挙推進協議会においても、選挙啓発授業の依頼をした市内の高等学校を訪問し、選挙への理解と周知を行っている。

さらに市内の小中学校に対しても、選挙啓発の内容を授業に取り入れるよう依頼しており、高等学校就学前から、できるだけ選挙に対する意識啓発に取り組んでいきたいと考えている。

公共施設について

Q 老朽化した施設の今後の修繕見通し及び予算確保について伺う。

A 【市長】 多くの施設が昭和50年代に整備されており、今後10年間経過後には、7割弱が築30年以上となり、一斉に大規模改修や更新の時期を迎える。公共施設等の老朽化と厳しさを増す財政状況に加えて、進行する人口構造の変化に対応するため、公共施設等総合管理計画の策定を通じて、財政負担の軽減と平準化を図っていく。

【そのほかの質問】 通学路、歩行スペースの確保について



老朽化が進む公共施設(東和コミュニティセンター)



高橋 浩 議員
(花巻クラブ)

厚生病院跡地問題について 国支援を得て花巻病院移転先に

Q 総合花巻病院移転整備基本構想は、移転先を旧花巻厚生病院跡地にしたいとしているが、同跡地はもともと市が(仮称)花巻中央図書館子どもの複合施設の建設予定地として取り組みを進めてきた。この構想を生かして中心市街地の活性化に資するべきと考えるがどうか伺う。

A 【市長】 総合花巻病院の移転先の観点からも中心市街地に適地を選ぶ必要がある。また、まとった土地が必要であることから県立厚生病院跡地を考えたもの。さらに立地適正化計画の都市機能誘導区域として指定される予定の花巻地区中心部で、医療施設を整備する民間事業者は、国の支援を受けられる可能性がある。このため県立厚生病院跡地がふさわしいと考えたものである。

上部平坦地譲渡を

Q 花巻城跡である上部平坦地の市への譲渡について交渉すべきと思うが、考えを伺う。

A 【市長】 平成26年12月に株式会社新興製作所からメノアース



建物解体が進む旧新興製作所

株式会社への跡地譲渡に関して、法律に基づく届け出があった際に、上部平坦地取得の可能性を検討したが、多額の建物解体費用が見込まれることや、上部平坦地のみを市に売却する意思がないため譲渡を見送った。現在、建物解体が行われて、上部平坦地を削ることを前提とした開発計画が示されており、改めて譲渡を申し入れる状況にはないと考える。

【そのほかの質問】 朝日橋橋梁整備事業について、市道新花巻駅前車道線について